

5-7 富士川・駿河湾地方における地殻変動観測（その18）

Crustal Movement Observation in the Fuji River and the Suruga Bay Area (Part18)

東京大学地震研究所 富士川地殻変動観測所

Fujigawa Crustal Movement Observatory
Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

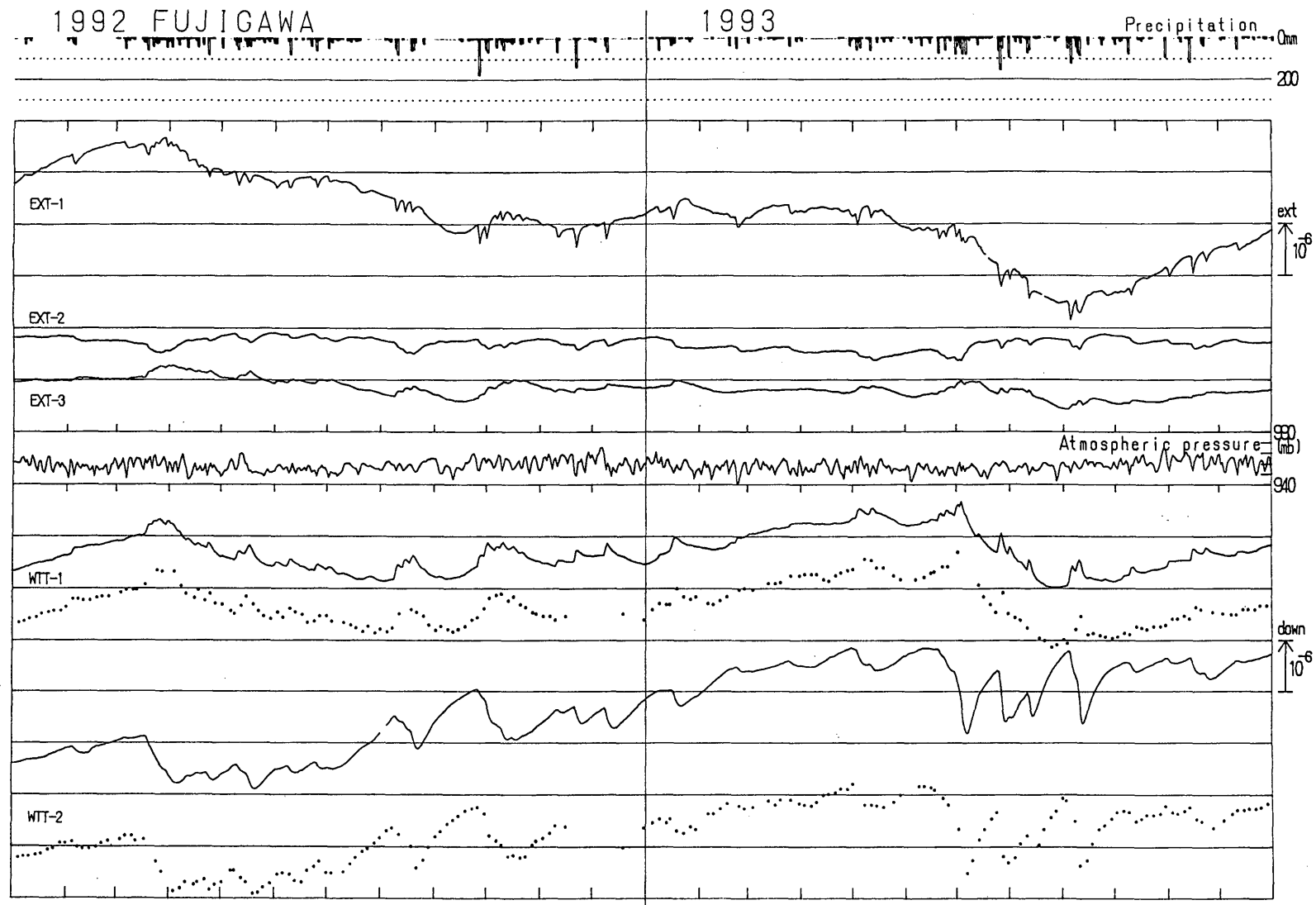
前報¹⁾に引き続き富士川観測所における1992年から1993年の観測結果について報告する。第1図は水晶管伸縮計 (EXT)・フロード式水管傾斜計 (FWTT)・気圧の日平均値を、読取式水管傾斜計においては読取値を、雨量については日雨量をプロットしてある。この図を見るかぎり特に目立った変化は見受けられない。第2図に歪み変化の日平均値・日降雨量を示す。この図において1992年中頃よりEXT-1の縮み変化が大きくなっている。第3図に読取式水管傾斜計の月平均値とその12ヶ月移動平均値・月別降雨量・年間降雨量を示し、第4図に月平均値に基づく傾動ベクトル図(12ヶ月移動平均値)を示す。1983年から1986年にかけて東北東、西南西への顕著な傾動は両成分において見られたが、1988年10月頃より1992年まで、1990年から1991年までの間は東下がりの傾動を伴いながら南下がりの傾動が続き、その後1992年よりWTT-2の東下がりの顕著な傾動が見られる。

第5図は富士川微小地震観測網により震源決定された微小地震の中から奥山観測点より±5kmの範囲で起こった地震の日別回数である。また第6図は1990年から1993年までの震源分布図と時空間分布図である。1985年の傾動の停滞期に入った10月に微小地震活動が活発であったことは前報¹⁾において述べたが1991年の南下がりの傾動が見られる様になった後の5月においても微小地震活動が活発であった。また1992年中頃からのEXT-1の縮みの変化とWTTの1992年頃からの顕著な東下がりの傾動と1992年7月下旬より1993年4月頃までの地震活動の活発であった時期との対応が注目される。

第7図(a)~(d)は富士川微小地震観測網で決定された1992年から1993年の半年間ずつの震源分布図である。富士山付近での地震も1993年後期においてやや数多く観測されている。

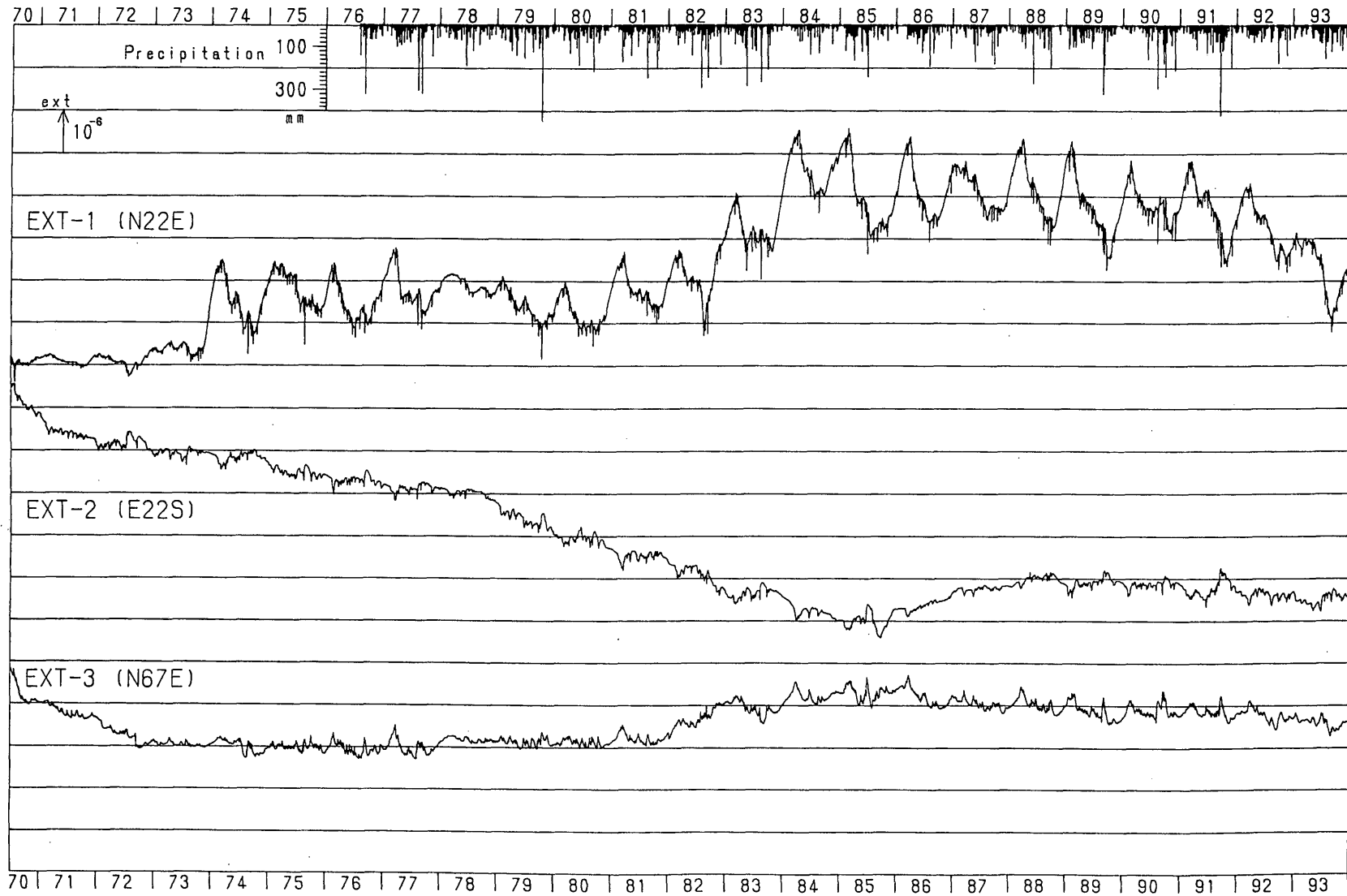
参 考 文 献

- 1) 東京大学地震研究所 富士川地殻変動観測所：富士川・駿河湾地方における地殻変動観測（その17），連絡会報，48（1992），336-344.



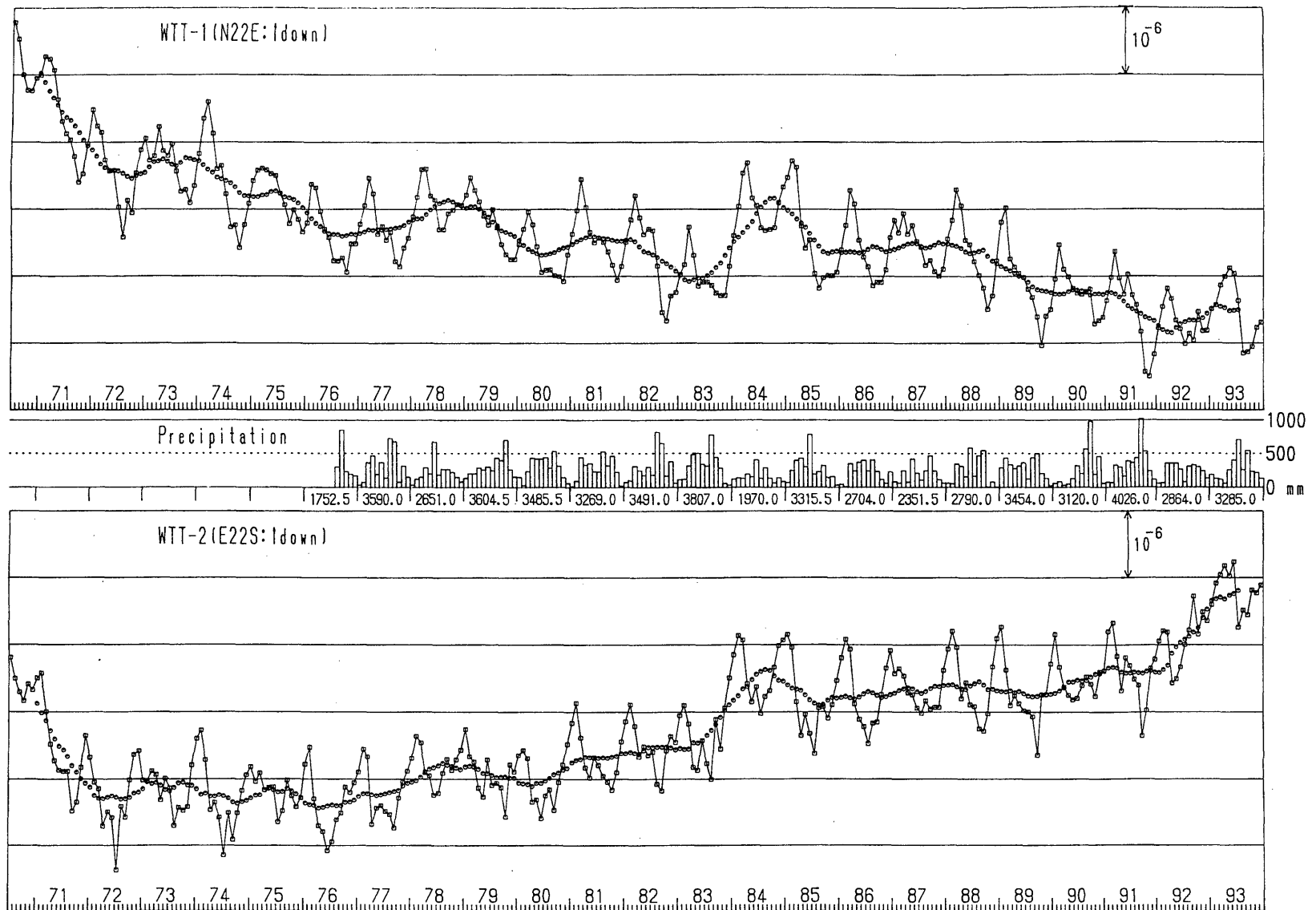
第1図 富士川観測所における水晶管伸縮計，水管傾斜計（実線=フオート式：点線=読取式），気圧の日平均記録および日雨量記録

Fig.1 The earth's strain, tilt (solid lines=float type WTT : dots=reading type WTT), atmospheric pressure (daily average) and daily precipitation at the Fujigawa observatory in 1992-1993.



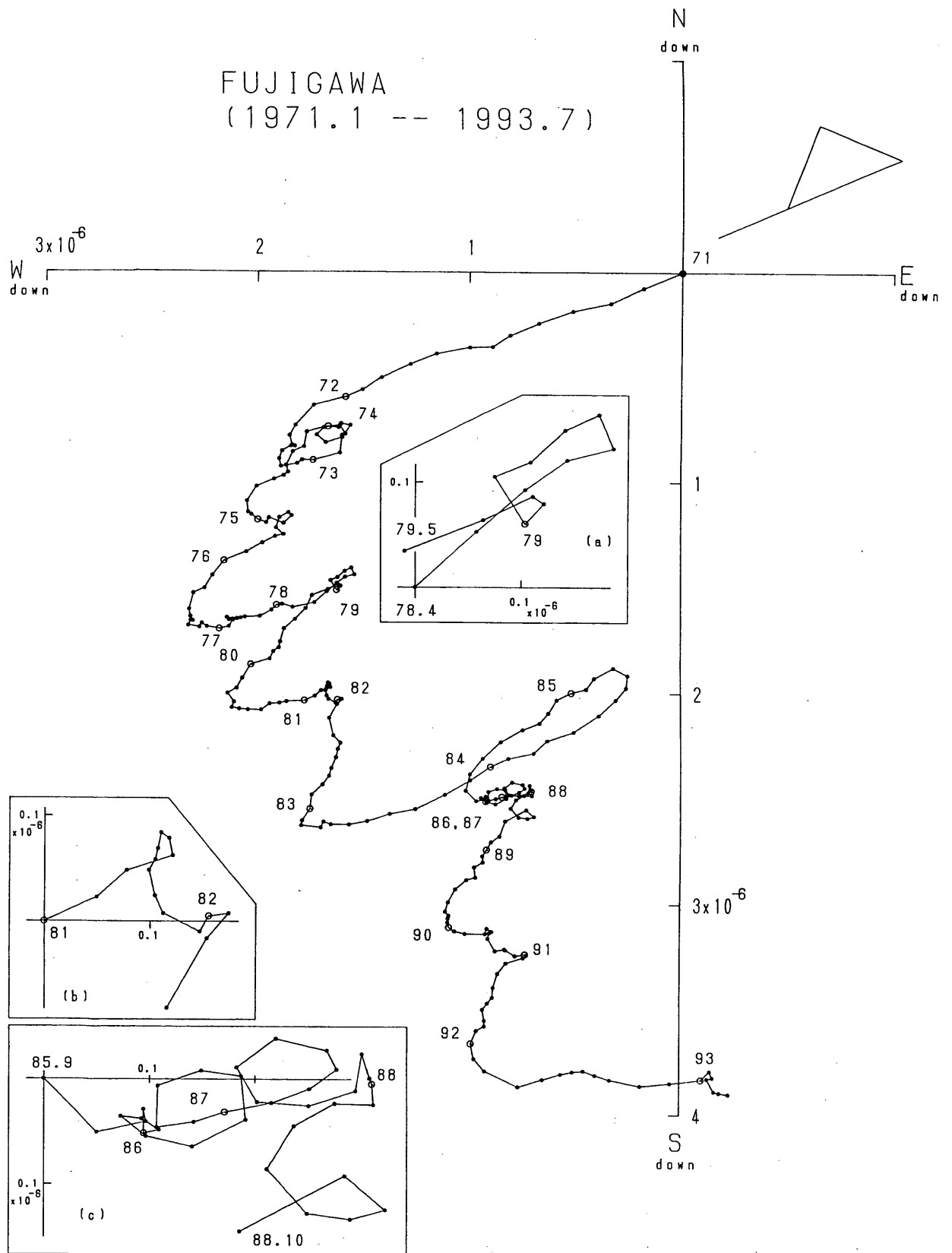
第2図 水晶管伸縮計日平均值，日降雨量

Fig.2 Cumulative tilt change by reading type WTT (□=monthly mean: ○=after 12 month's running mean), Monthly and Year precipitation.



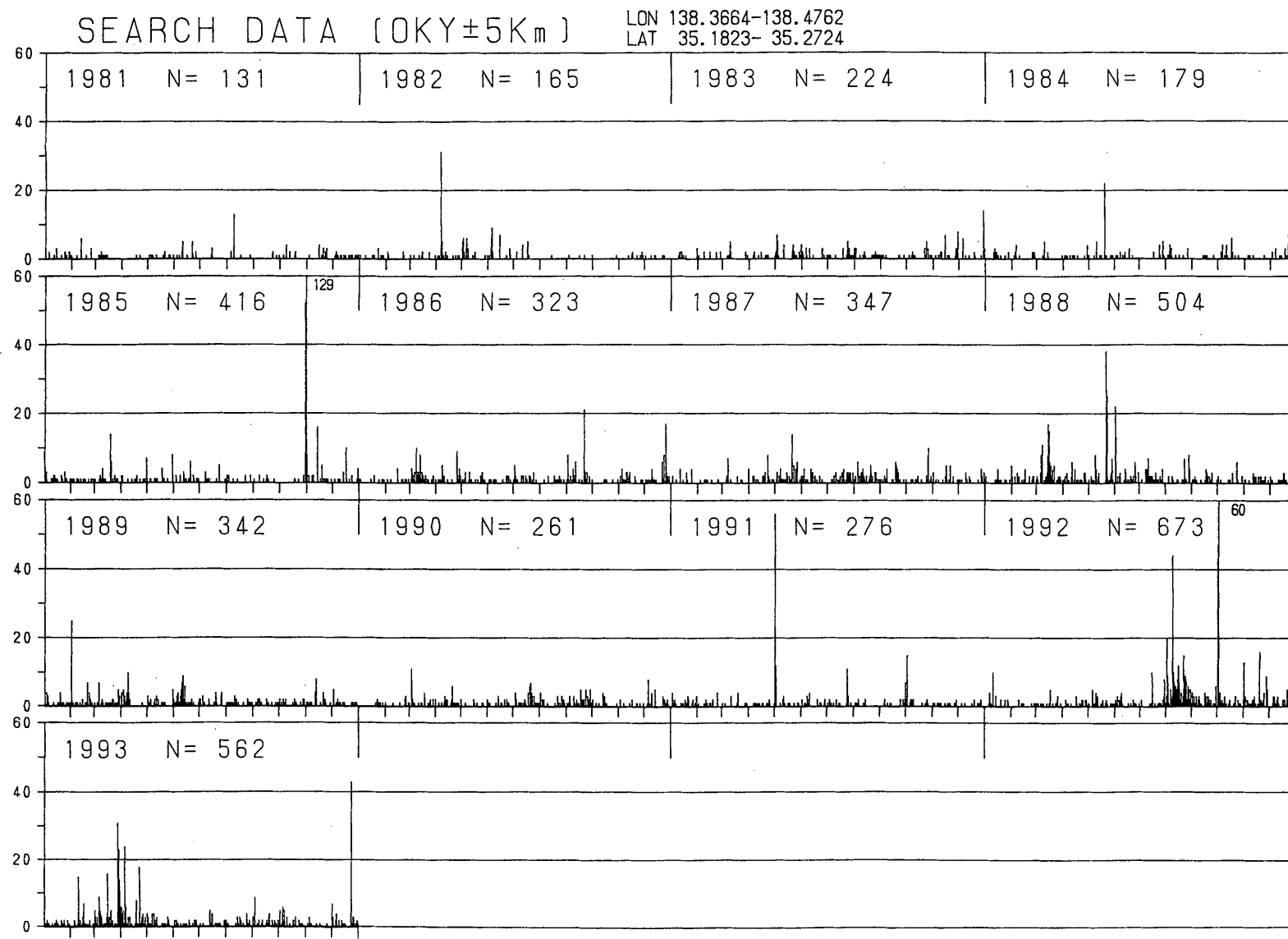
第3図 読取式水管傾斜計による累積傾斜変化 (□=12ヶ月平均値：○=12ヶ月移動平均値)，月別・年間降雨量

Fig.3 Daily average strain data observed by extensometers and daily precipitation.



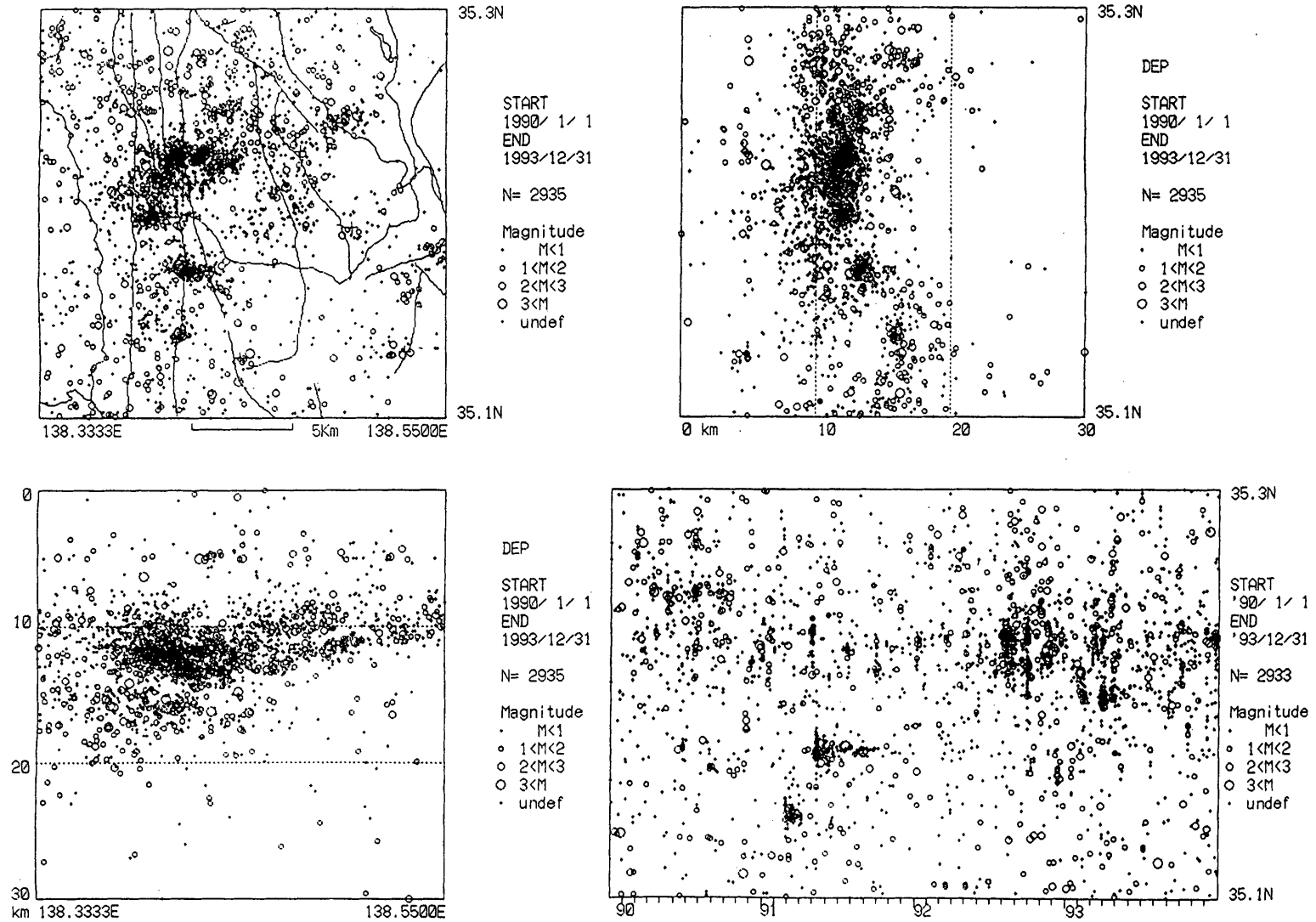
第4図 読取式水管傾斜計による永年傾動ベクトル図

Fig.4 Filtered secular change in the ground tilts and its vectorial presentation.



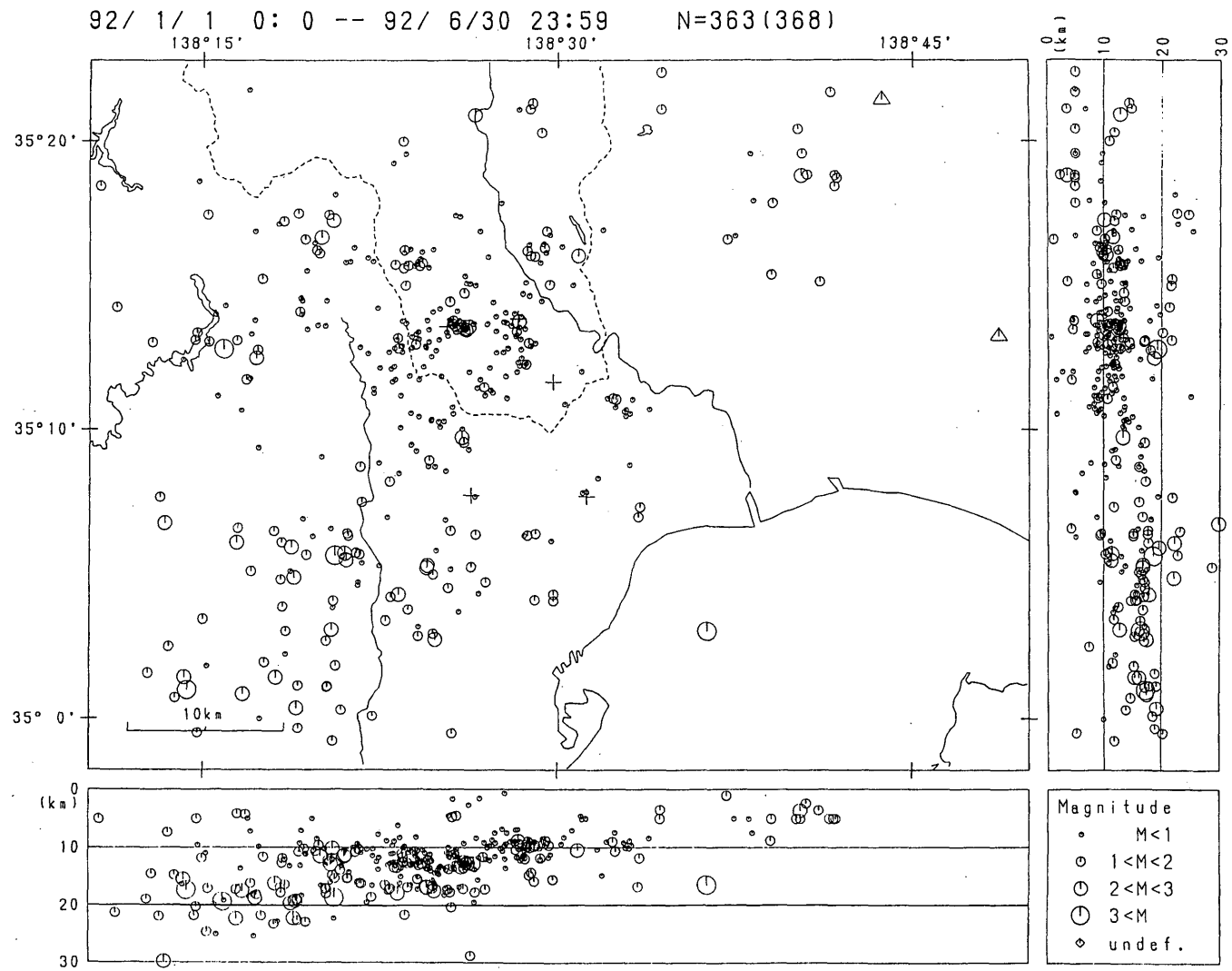
第5図 奥山観測坑±5kmの日別地震活動状況

Fig.5 Micro earthquake activities near the Okuyama station. The epicentral distance is less than 5km from the Okuyama station.



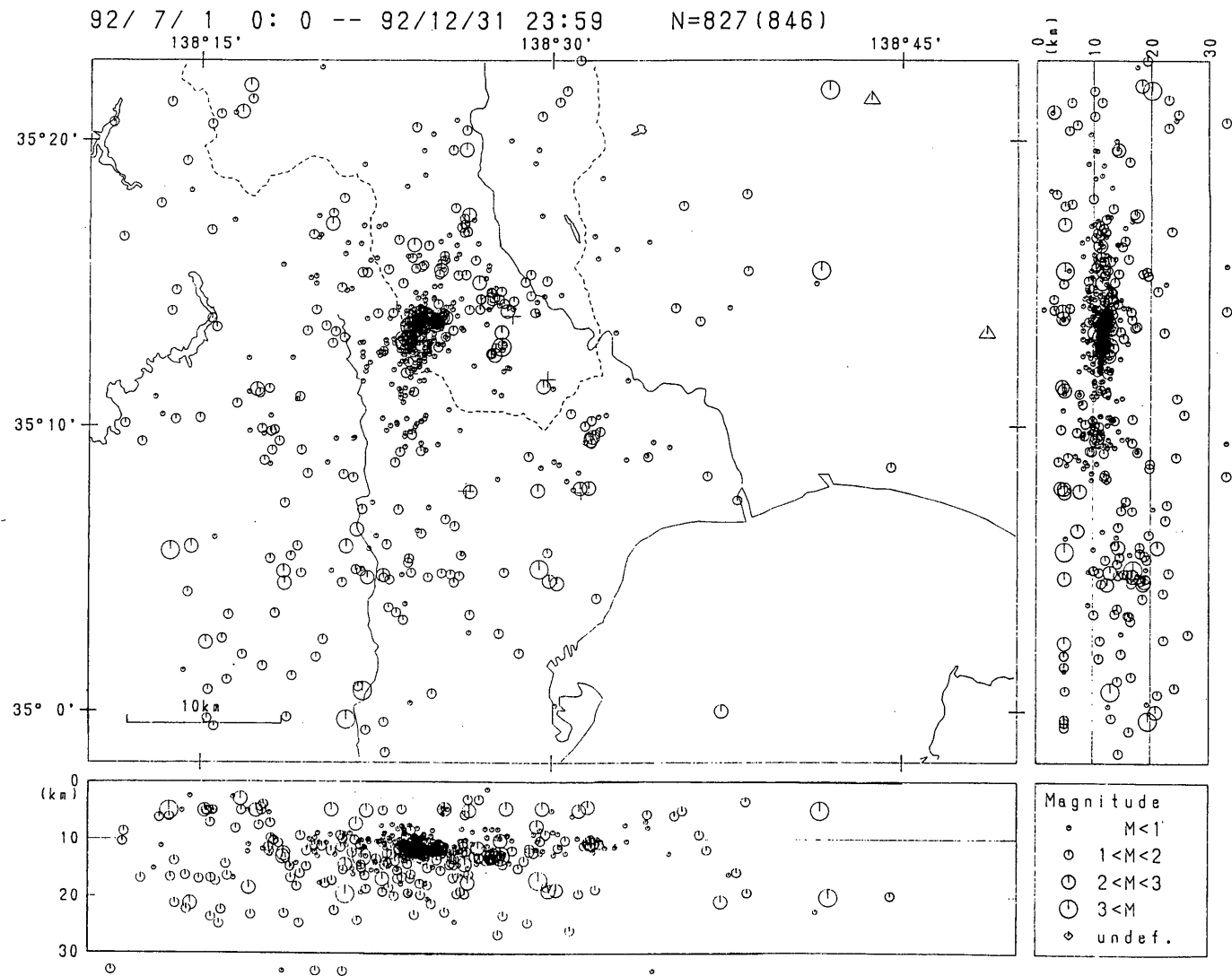
第 6 図 震源分布図，時空間分布図（1990年～1993年）

Fig.6 Hypocenter distribution and time-space diagram (1990-1993).



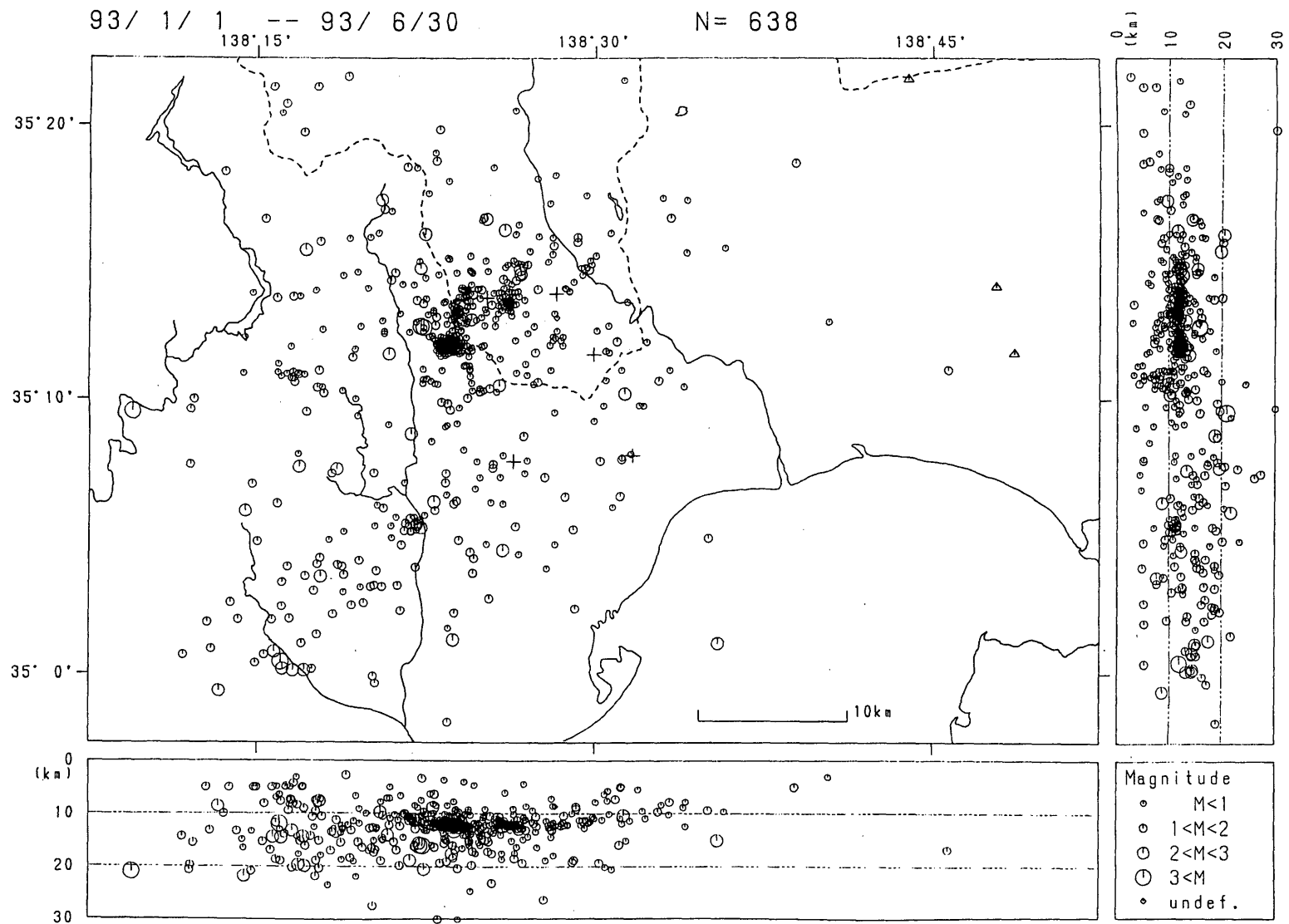
第7図 富士川微小地震観測網による震源計算結果。(a) 1992年1月1日～6月30日。

Fig.7 Hypocenter distribution near the Fujigawa observatory. (a) January 1, 1992—June 30, 1992.

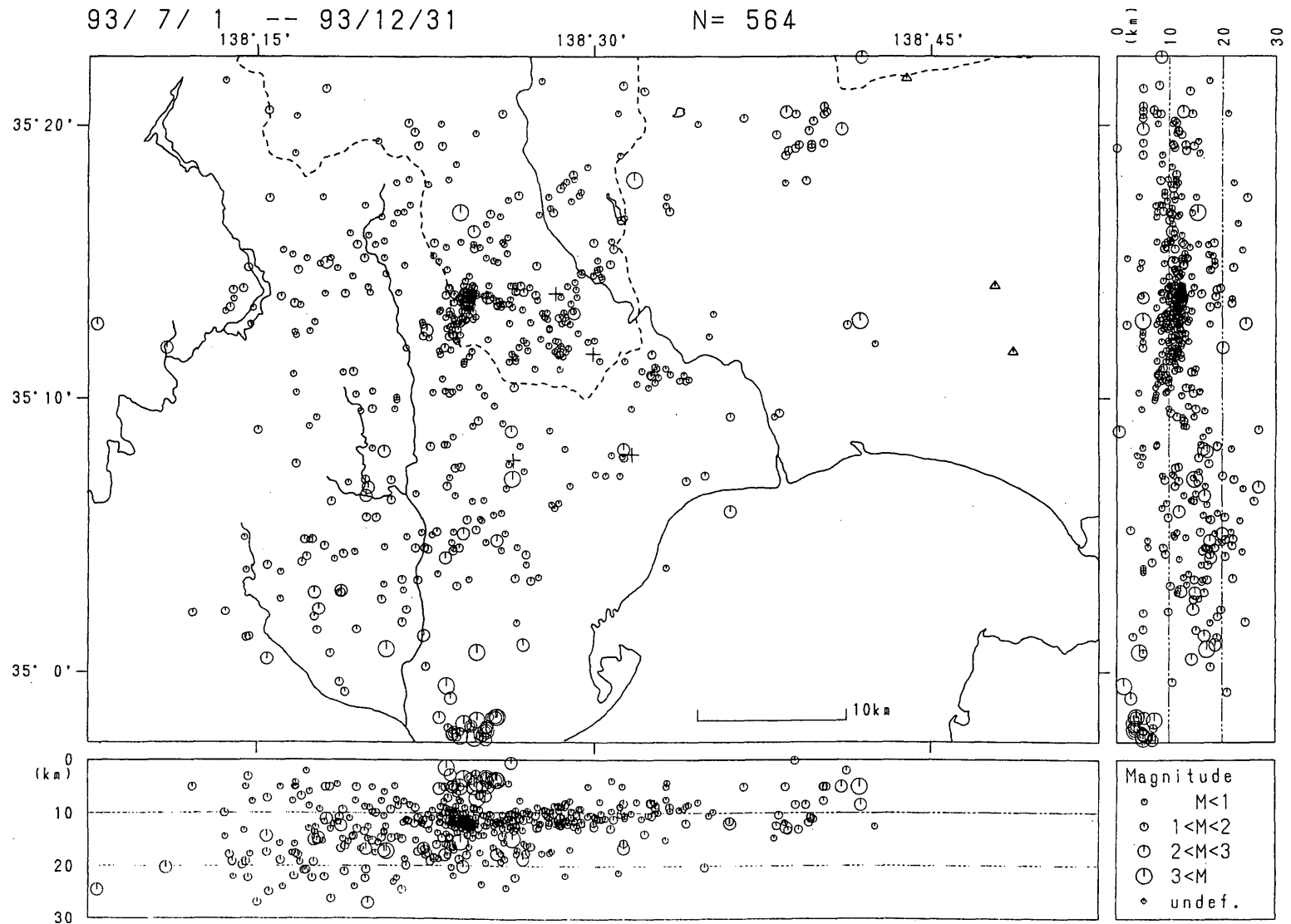


第7図 (b) 1992年7月1日~12月31日

Fig.7 (b) July 1, 1992-December 31, 1992.



第7図 (c) 1993年1月1日～6月30日
 Fig.7 (c) January 1, 1993—June 30, 1993.



第7図 (d) 1993年7月1日~12月31日
 Fig.7 (d) July 1, 1993—December 31, 1993.